



グローバル文化学環 特別講演会

大崎 麻子

「グローバル・イシューとしてのジェンダー： 世界の現状、日本の現状」



大崎麻子さんの紹介：

上智大学を卒業後、米国コロンビア大学で国際関係修士号（国際人権法・人道問題）を取得。国連開発計画（UNDP）ニューヨーク本部開発政策局にて、ジェンダーと女性のエンパワーメントを担当。世界各地で数多くのプロジェクトを手掛けると同時に、UNDP内のジェンダー主流化の政策立案、制度および能力構築に従事。2004年11月に退職・帰国後は、フリーの開発政策・ジェンダー専門家として政府関係機関、援助機関、国際機関、NGO、研究機関等で幅広く活動。関西学院大学客員教授ほかいくつもの大学でも教鞭をとり、テレビのコメンテーター等としても活躍されています。出産・子育てをしながらの留学、国連勤務など、いろいろな意味でグローバル化時代を生きるわたしたちのモデルとなる女性です。

著書『女の子の幸福論——もっと輝く明日からの生き方』
(講談社、2013年)



“幸せのカギ、ここに 있습니다”

2014年5月29日(木)16:40~18:10

共通講義棟2号館102教室

主催：お茶の水女子大学文教育学部グローバル文化学環

この講演会は「グローバル文化学総論」の一環として開催しますが、お茶大関係者は自由に聴講できます。皆さんの参加をお待ちしています。